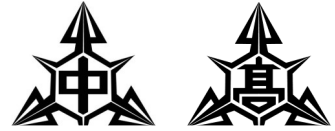




八幡坂の歩み

第3号 令和6年9月30日発行



長崎県立佐世保北中学校・高等学校

長崎県佐世保市八幡町6番31号

TEL 0956-22-4105/FAX 0956-22-5361

URL <http://www.news.ed.jp/sasebokita-h/>

「ワクワクがとまりません！！」

中学副校長 中里 紀和子

9月は、文化祭、体育祭と大きな行事が続きました。それぞれの行事ごとに、佐世保北のみなさんの活躍をたくさん見ることができました。行事に向けて一生懸命に取り組んでいるみなさんの姿は本当にきらきらと輝いていました。実行委員のみなさんは、行事の企画運営だけでなく、いろいろなところに目を配りながら行事を支える立場としてがんばっていました。文化祭では、後片付けが終わっていないクラスを手伝ったり、校内のゴミなどもみんなが下校した後も遅くまでまとめていたりしました。体育祭では、雨天でプログラム変更があった中、各種目の進行がスムーズにいくよう、出場種目の学年やクラスの指示などしっかりと行っていました。また各リーダーのみなさんも準備の段階から綿密に計画を行い、各団をまとめあげました。大変だったでしょうが、後輩達が「実行委員の仕事やリーダーなどをやってみたい！」と思うような立派な活躍だったと思います。本当にお疲れ様でした。

さて、今年度「テーマパークみたいな『ワクワクする学校』」と校長先生が年度初めにお話しをされたことは覚えているかと思います。主体はみなさんではあるのですが、学校生活の中で私自身が「ワクワク」することが日々多くあります。そのことについてほんの一部ですが、紹介したいと思います。

○戸締りなどで高校3年生から中学1年生まで教室を回る機会があります。私はその時、背面にある学級目標を見るのを楽しみにしています。習字で書かれた立派な文字と言葉に圧倒されるものもあれば、ふふっと笑ってしまう目標（「そんなつもりで目標を立てたつもりはない！」というクラスがあったらすみません！）まであります。このクラスの目標ができるまでどんな話をしたのだろう…、担任の先生の押しが強かったのか、隣のクラスの目標を見て自分たちの学級も寄せて作ったのか、想像するだけで面白いです。これから今年度も後半になりますが、それぞれ特徴のあるクラスの目標（ゴール）に向けてどんな団結を見せてくれるのか、たいへん楽しみで、わたしのワクワクの1つとなっています。

○4月に中学1年生が世知原の野外活動でカブラをおこないました。（高校生でもカブラに挑戦したことがある人は多いのではないのでしょうか？）カブラはフランス製のブロックで、最初はそれぞれ積み上げて、個々に高さを競っていました。最後にメインイベント、クラスごとにブロックを積み上げる「ナイアガラの滝」を作る時間になりました。制限時間は20分。会ってまもないクラスの仲間達と集中して作っていました。残り10分、ふとしたことで1クラスのブロックが大きく崩れてしまいました。「あ～あ。」大きなため息が建物全体に響いていました。今からブロックを作り上げるのは間に合わないでしょう。隣のクラスはすでに完成していたので、私自身は「仕方ない、隣のクラスの『ナイアガラの滝』を借りてクラスの記念写真を撮ってもいいのかな」と安直に考えていました。そうしたら、そのクラスの生徒達が頭をお互いにつきあわせて、再びナイアガラの滝を作り始め、とうとう残りの10分で完成させました。

私は大変驚きました。私の気持ちはとうにあきらめてしまっていました。中学1年生には「くずれても、まだ時間がある」という気持ちやどのクラスにも「がんばろう、クラスの初めての作品、協働で作るんだ！」という気合いを感じました。北中21回生にわくわくを初めて感じた時間でした。

○ある日の土曜の午前中に学校に行くことができました。そこに高校生が一人、階段を掃除していました。私が「どうして掃除しているの？」とたずねたところ、「昨日からゴミがあるのが気になっていたので掃除しました。」とのことでした。誰も見ていない、私が通らなかつたらだれもそのことを知らずにいたでしょう。階段を使う人たちが気持ちよくいられるように、それだけの気持ちで掃除をしていたと思うとこちらもうれしくなりました。

○9月のある朝、中学校生徒会のみなさんがそろってふくろうの庭にある佐世保市立成徳高等女学校（佐世保北高校の前身）の「山上トミ先生像」を洗っていました。（みなさん、ご存知ですか？）自分たちでスポンジや洗剤、ぞうきんなどを持参して、きれいに磨いていました。最初は長年洗っていなかったからでしょう、汚れやコケがたくさんついていましたが、みるみるうちにきれいになっていきました。誰もあまり気づかないところに着目して積極的に掃除をする、佐世保北をきれいにしようとするその気持ちが大変うれしかったです。きっと山上先生も喜ばれていると思います。朝のちょっとした時間ではありますが、こちらもさわやかな気分になりました。

私はみなさんが将来どんな大人になるのかワクワクがとまりません！！今からの世の中、VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）と言われ、先が見えない時代と言われるようになってきました。確かにそのような世の中でしょうけど、佐北のみなさんが大人になるのであれば、その見えない霧のような時代も一人一人がかき分け、時に仲間の力も借りながら明るく晴らしてくれるのではないかと楽しみになっています。

私も今日もどんなワクワクをみなさんが見せてくれるのか、楽しみにしています。そして、みなさんも何か良いことないかな、ワクワクした気持ちを大事にして日々過ごしてくれることを願っています。

中高

文化祭

9月6日(金)、7日(土)の2日間、文化祭が行われました。76回目文化祭にちなみ「76(なろう)～〇〇な自分に～」というテーマを考え、一人ひとりが「理想の何かになる」という思いのもと、大会運営やクラス・部活動・有志団体の発表などの様々な活動に主体的にかかわり、文化祭を作り上げていきました。実行委員会の企画では、オープニングからエンディングまでつながるストーリーの中に、様々なアトラクションや演出を織り込み、2日間飽きさせない工夫を凝らしていました。展示や会場装飾、ステージでのこだわりを持った音響や照明は華やかに文化祭を彩り、生徒みんなのさまざまな才能が存分に発揮された文化祭となりました。

一般公開となった2日目には多くの方にご来場いただき、活気のある文化祭となりました。残暑厳しい中ご参観いただき、ありがとうございました。



中高

体育祭

令和6年度の佐世保北中・高の体育祭は、夏の暑さを避けるため例年より3週間遅く開催しました。生徒たちはリーダーや保護者の協力のもと、暑さ対策をしながら練習に励みました。昨年発足した体育祭実行委員会は、生徒主体で計画から広報、当日の運営までを行い、佐北生はもちろん、体育祭にご来場いただくすべての方々が楽しめるような環境を整えてくれました。コロナも昨年5月に第5類となって、少しずつ落ち着きを見せていることもあり、急流下り、東海道五十三次といったコロナ前に行っていた競技も復活しました。開催日は秋雨前線の影響で決定が難航しましたが、なんとか開催にこぎつけました。当日は大雨で一時中断もありましたが、ご来場の皆様には臨機応変な対応をとっていただきました。奇跡的に天候が回復し、フェスタの演技を無事に行うことができました。保護者の方々、おやじの会、活動サポーターの皆様、温かい協力と理解を示してくださったこと、心より感謝しております。高校3年生は学習と両立しながら体育祭の成功に貢献しました。この経験を自信に変え、受験勉強に活かしてほしいと願っています。ありがとうございました。



高校 インターハイ 空手道部

8/1～4にかけて佐世保市体育文化館で行われたインターハイに出場しました。団体組手での出場は7年ぶりとなり、たくさんのOB、保護者、生徒や先生方の応援の中で試合ができました。また、本校からたくさんのボランティアスタッフのご協力をいただきました。準備や大会期間中の運営、大会終了後の片づけまで本当に一生懸命取り組んでくれたおかげで素晴らしいインターハイを創り上げることができました。

結果としては2回戦敗退となりましたが、空手道部の部旗にある「全てに感謝」を強く実感する大会となりました。応援ありがとうございました。



中学 九州・全国大会 空手道部

昨年のリベンジとして迎えた大分での九州大会、大阪での全国大会は、選手たちにとって貴重な経験となりました。技術面はもちろんのこと、精神面の強さも重要であると改めて感じる大会でした。それぞれがチームのためという思いで戦う姿からは、チームとしても成長を感じることができ、今後に向けての大きな収穫となりました。二つの大会での反省を生かし、新チームとして何事にも努力することや周囲への感謝の気持ちを忘れず、誰からも応援されるチームになることを目標に頑張っていきたいと思います。多数の応援ありがとうございました。



中学 2年生 自然体験学習

7月24日(水)、北中第20回生は松浦市で自然体験を行いました。生徒は各班に分かれ、ヤマメ釣り、押しずし作り、筏作りなど、さまざまなことを体験しました。どれも初めてのものばかりでしたが、インストラクターの方に支えていただきながら楽しく活動し、学校生活では味わえない経験を積むことができました。次の日の新上五島町での体験は台風のため中止となり、2日間予定していた自然体験はたった1日になりましたが、非常に実りある体験でした。



中学 3年生 研究所訪問

7月11日(木)、中学3年生は研究所訪問を行いました。約40名ずつの3班に分かれて、長崎国際大学、長崎総合科学大学、長崎大学にそれぞれ伺いました。長崎国際大学では、国際観光学科、健康栄養学科、社会福祉学科、薬学科の体験プログラムに取り組みました。長崎総合科学大学では、大学ロボコンの体験と、造船シミュレータに挑戦しました。長崎大学では、教育学部と情報データ科学部の授業を体験しました。生徒たちからは、「将来について深く考える良い機会になった」、「今まで抱いていた大学のイメージより親しみを感じた」、「以前よりも大学に対して興味・関心が高まった」などの感想が聞かれました。今回の研究所訪問は、生徒たち一人ひとりの進路意識を高める貴重な機会となりました。



高校 夏季学習会

高校1年生は7月26日、29日の2日間、3年生は7月30日～8月2日、5日の5日間、佐世保市労働福祉センターで朝9時半から夕方まで、ひたすら自学に取り組みました。「周りのみんなが頑張っている姿を見て、モチベーションが上がった」、「数学の疑問点を質問して、納得できた」、「集中して自学に取り組むと思った以上に時間が早く過ぎた」などの感想があり、多くの生徒が学習に対して良い手ごたえを感じていました。



中学 中学3年生 夏の学習会

7月24日(水)～26日(金)の3日間、中学3年生は校内で学習会を行いました。1～7校時まで、自学を中心としながら、学年所属の教員による講座も開講して、北中生としての学力の完成を図りました。初めは、生徒たちはこれほどまで長時間机に向かうことに慣れない様子でしたが、2日目には集中して黙々と学習に取り組む姿が見られました。高校1年生の先輩たちとの座談会もあり、半年後の高校進学に向けて、生徒たちの学習に対する意識をより一層高める良い機会となりました。



Welcome Alex sensei !!

Hello!! My name is Alex, and I am your new ALT. This is my third time in Japan, and I am so excited to be back. I have never been to Nagasaki prefecture though, so please tell me where to go and what to see. I loved seeing all the clubs, the plays and school orchestra perform at the Bunkasai festival, I thought you were all amazing! I think I am very lucky to be at Sasebokita, you have all given me such a warm welcome. I look forward to being your teacher and making new memories in Sasebo!



10月行事予定

- 2日(水)避難訓練
- 3日(木)第3回考査(中：～4日 高：～8日)
- 9日(水)共通テスト100日前集会(高3)
- 10日(木)芸術鑑賞会
- 11日(金)合唱コンクール(中)
- 12日(土)対外記述模試(高3)・ハルベル模試(高2)
- 16日(水)読書集会
- 19日(土)総合学力調査(中3)・対外記述模試(高3)
- 22日(火)修学旅行(中3 ～25日)
佐北トライやる(中2 ～24日)
- 23日(水)地域清掃(高1高2)
- 26日(土)大学別模試(高3 ～27日)
- 30日(水)人生の達人セミナー
高校駅伝壮行式